

りとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉事業部りとるらいふ
発行日：2021年10月

こんにちはりとるらいふ通信委員です😊最近、道端を見ると色づいた葉っぱ🍁や木の実🍎が落ちていて、秋も深まってきたなあ…と感じることが増えてきました。皆さんも余裕のある際には、秋色に染まった葉や木々を眺めてみてくださいね🍂

さて📖今月号のトップ記事は、放課後等デイサービスもーとの食に関わる支援・活動について特集しています。食に関する活動を通してご利用者様へ伝えたい思いについても掲載していますので、是非ご一読ください📖また、ご利用者様から「美味しい😊」と評判な、各事業所の誕生会で提供されるスイーツについて知って頂ける記事など内容盛り沢山の10月号をどうぞお楽しみください😊❤



《もーとの食に関する支援・活動》



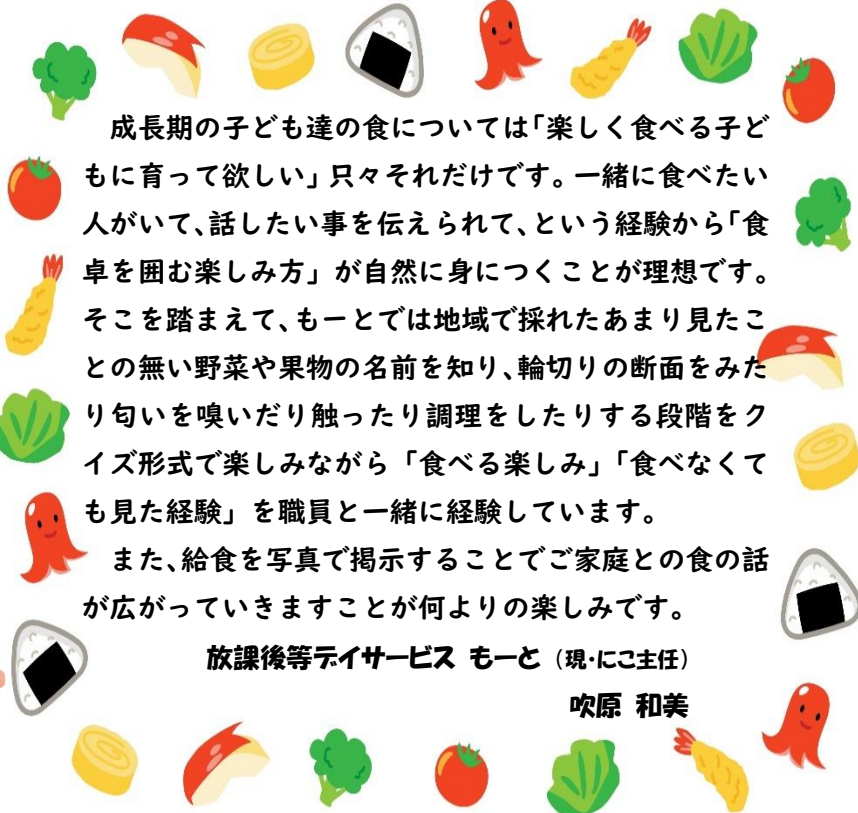
夏休み初日、厨房の調理員さんのもとへ挨拶に伺いました。少し緊張しながらも「おいしい給食をよろしくお願ひします！」と元気に挨拶をすることが出来ました♪



「糸うり」を使ってサラダ作りに挑戦！「どんな味？中身はどうなっているの？」と初めて見る野菜に興味津々の子ども達…茹で上がった糸うりを手でほぐすと、おそばのようになることが予想外😲不思議そうに眺めていました！



夏休み前は給食提供に向けて上越特別支援学校様へ、栄養士、看護師と一緒に食形態や介助の様子などを見学させていただいています。個々に合わせた食形態は、原形をイメージできる工夫がされていて目でも楽しんでいただいています！



成長期の子どもの食については「楽しく食べる子どもに育って欲しい」只々それだけです。一緒に食べたい人がいて、話したい事を伝えられて、という経験から「食卓を囲む楽しみ方」が自然に身につくことが理想です。そこを踏まえて、もーとでは地域で採れたあまり見たことの無い野菜や果物の名前を知り、輪切りの断面をみたり匂いを嗅いだり触ったり調理をしたりする段階をクイズ形式で楽しみながら「食べる楽しみ」「食べなくても見た経験」を職員と一緒に経験しています。

また、給食を写真で掲示することでご家庭との食の話が広がっていきますことが何よりの楽しみです。

放課後等デイサービス もーと (現・にこ主任)
吹原 和美



「好きな物」

自分はアウトドアが好きです。キャンプに釣りにスキーにスノボにカヤックにと、休日はよく外で遊びます。ドライブや観光も好きです。滝や峡谷などの自然観光や、寺社仏閣を見るのも好きです。

そして、そんなときはいつも一緒に相棒(ポメラニアン)がいます。

一緒にテントで寝たり、抱っこしてスノボで滑ったり、湖の浮島にある神社のご朱印を頂きにカヤックで漕ぎ出したり、ドッグランやドッグカフェでいろんな友達と遊んだり。

ペット可の場所に限りませんが、どこに行くにも一緒です。そんな愛犬が、自分の一番好きなものです。

ちなみに今は飼っていないけど猫も好きです。

ついでに言うとハリネズミも飼ってるので好きです

とも 長藤 正彦

次回のテーマ「愛用しているもの」

「コロナが終息したら 行きたい場所」

コロナが終息したら行きたい場所はいくつかあります。その中の一つは「関東方面」です。コロナが流行する前は、主人の地元が関東方面なので年に数回、お墓参りも兼ねて行っていました。

飼い犬も一緒に行くので行ける場所は限られてしまっていますが、ドライブしながら休憩場所を探し、少し車を走らせた所にある綺麗に整備された公園でのんびり過ごすこと。それが田舎者の私にとって、とても良い刺激になるのです。

コロナが終息するまで、後どれくらい掛かるのかわかりませんが今は落ち着くまで関東方面に行くのを我慢しています…。落ち着いたらまずは、にこで外出活動を計画し、利用者様とたくさん出掛けられたらいいなと思っています。

にこ 山内 悦子

次回のテーマ「自信があること」

～以下の通り、職員の人事異動がありましたのでお知らせいたします～

【入職】(10/1付)

関 広美 → 放課後等デイサービス もーと
水澤 優子 → グループホーム ふぁみりあ

【異動】(10/1付)

渡辺 功 放課後等デイサービス にこ → 放課後等デイサービス ららん
吹原 和美 放課後等デイサービス もーと → 放課後等デイサービス にこ
山本 翔平 放課後等デイサービス ららん → 短期入所 ふあん
奥田 弥生 短期入所 ふあん → 住居生活支援課付

(※10月より産前休暇に入り、しばらくお休みさせていただきます)

～どうぞよろしくお願いいたします～



各部門活動報告



ともでは室内のイベントとしてハーバリウム作りを行いました。植物、蝶、貝殻などのモチーフをご利用者様に選んで瓶に詰めていただき、オリジナルの作品を作りました。

作品が完成すると、ご利用者様は「ピンクの花かわいい！」と職員に見せて下さり、とても満足された様子でした(〃)

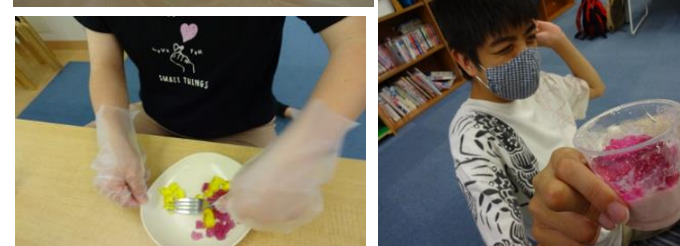


今月はコースター作りを行いました！好きな色のタイルを選び、自由に組み合わせていきます。皆さん悩まれながら、自分の好きな色やキャラクターを組み合わせていました。完成したコースターはご自分の机に置いて使用しています。撫でて手触りを確かめたり、指をさして職員に見せるなど皆さん気に入られた様子でした。



今回は、ららんの子もたちが好んで集まる場所をご紹介します(〃)。

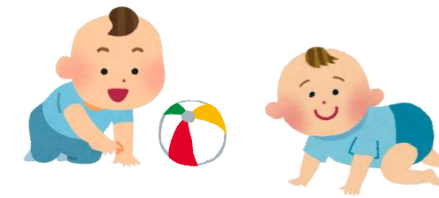
それはビーズクッションとソファスペース♡静かに本を見たり、お友だちとの会話を楽しんだりして一緒に座り心地や、その感触に癒されて過ごしています。



にこでは「クラッシュゼリーフルーチェ」を作りました。「何作るの？」と興味津々！！フルーチェ作りでは「食べたことあるよ！」と教えてくれる子どもたち。カラフルなゼリーをクラッシュ！そして飾りつけをするとキラキラきれいなおやつ完成です♪



もーとでは「読書の秋」にちなんで秋のしおり作りをしました！「僕は緑が好きだから緑の葉っぱにする！」と様々な色の落ち葉を組み合わせて、オリジナルしおりの完成！みなさんもいろんな「〇〇の秋」を見つけてみてくださいね♪



「二番目は？」

放課後等デイサービス にこ 主任 吹原 和美

以前の仕事、第二弾！

保育園勤務から人事異動で子育て支援センターに配属され「どんな仕事なんだろう？」「子育て支援ってなに？」と思っているうちに数カ月が経ち、わからないなりにお母さん方との関係性が若干出来てきた頃の出来事です。

(ちなみに子育て支援センターとは、育児家庭を専門的な支援でサポートし遊び場の開放や地域交流を目的としている拠点です。)

いつもは他者の話を聞いて楽しんでいるタイプのお母さんが珍しく「周りから『二番目はまだ？』って言われることが増えてきたんです。」と私に話してきました。愚痴っぽく伝えてはいましたが内心は苦痛なんだろうと思える表情です。周りで聞いていたお母さんも「わかる～」と言って私達の話に加わり、一通り愚痴を言い合った後「でもさぁ～ 何で二番目が必要と思って言ってくるんだろうね～」と頭を切り替えた発言がきました。確かに家族計画はその家庭が考えることで、ましてや授かりもの。その日は私を含めた3人が腹落ちのする意見が出せず、それぞれがスッキリしないまま帰りの時間に。

数日後、話に加わってきた方のお母さんがママ友4人と一緒に来所し、話の発端のお母さんも誘って、お母さん方だけで何やら話し出し、ちょっとした座談会になっていきました。2歳以下のお子さん達ではあります何故かその時は母にまわりつかず、母の姿を確認しながら独自の遊びを展開しています。若干の時間ならと思い私は子ども達の見守りをしていたが、子どもの動きからそろそろ終わりにしてほしいと思いを掛けると、お母さん方は自分の子どもの所に行き一緒に遊びながら私に「ありがとうございました。おかげでスッキリしました。私達の中での結論が出たので聞いてください。」実は、みんなで何故二番目が必要と思って言ってくるのかを考えていたんですと……

え～！まさか数日前の話題が続いていたとは想像していなかったので驚きです。

「きっとですが、両親が亡くなった時の悲しみを同じ気持ちでわかち合える存在があってほしいということなんじゃないかって…」「そう思うことで言われてもそれぞれが自分の解釈ができると思ったんです」と。

違う意見も様々あることでしょう。ですが、母6人の誰もが納得し、気持ちが楽になり、着実に「母」となって地域社会と相まみえていこうとする前向きな力にとっても感動して涙が出てきました。それまでは「子育て支援ってなに？」と思いつつ肉体の疲れは無いけど変な気持ちの疲れを感じていた私でしたのに「何？この感覚？」とざわざわ血が騒ぎ、子育て支援センターでの仕事を少しだけ理解でき、少しだけやりがいを感じたのを今でも覚えています。あのお母さん達、今どうしているのかなぁ～

栄養士にこだわりを聞いてみました！！

誕生会のスイーツ製作について

『グループホームふぁみりあ』や『ららん』の誕生会では…！？

「誕生会は手作りケーキで♡」

ふぁみりあの皆さまには希望されるケーキやその方のイメージで、ららんの皆さまにはアレルギーの配慮や色や形を変えながらできるだけ旬なものを。どちらも「同じものは作らない」それが私の密かな決め事です。



栄養士 小山 明美

